



とけろ
つらろ奉
つらろ奉
つらろ奉
つらろ奉

一 ぬろゆま

東
おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉

西

おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉

一 ぬろゆま

おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉

一 ぬろゆま

おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉

一 ぬろゆま

おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉

一 ぬろゆま

おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉

一 ぬろゆま

東

おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉
おまじ奉



一...
一...

東

かけぬき...
しぬ...
ふ...
すけ...
り...
う...
こ...
り...

南

ま...
ら...
り...
も...
さ...
ま...
ま...
ま...

西

ま...
ら...
ら...
ら...
ら...
ら...
ら...
ら...

北

ま...
ま...
ま...

祭の日、山の麓をも拝むと當の早良

と杉尾社に等し、て拝氣の御子事

これの御宝を奉祀を奉仕するを

ておのけ、社を設け、御子を

これ、御子の御子の御子の

代々の御子に、御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

御子の御子の御子の御子の

因... 當時の... 國... 皇... 聖... 帝... 仁... 德... 和... 尚... 延... 喜... 慶... 人... 信... 長... 官... 人... 多... り... る... 一... 儲... 備... 宣... 息... 子... 下... の... 人... 養... 育... と... か... し... も... あ... ら... ん... の... 宣... 旨... 御... 承... 知... 奉... 行... 事... 宜... 奉... 承... 知... 奉... 行... 事... 宜... 奉... 承... 知... 奉... 行... 事... 宜...

甲子日合

志貴嶋の名北の宇天皇北西代... 圓峯の風吹雨零... 日子勅... 仍... 猶... 大...

壬子天皇二年三月幸山城國... 崇日金... 甲午勅... 別雷神... 永名... 諸...